



平成24年5月15日

各位

株式会社T & Dホールディングス  
 (コード番号 8795 東証・大証第一部)  
 太陽生命保険株式会社  
 大同生命保険株式会社  
 T & Dフィナンシャル生命保険株式会社

### 平成24年3月期決算のお知らせ

T & D保険グループ（T & Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T & Dフィナンシャル生命）の平成24年3月期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

#### 契約業績（生命保険会社3社合算：個人保険・個人年金保険）

- 新契約高は、6兆3,496億円、前年から微増、
- 解約失効高は、4兆2,616億円、前年から5.2%の減少、
- 保有契約高は、58兆4,146億円、前年度末から0.6%の増加となりました。

#### 損益関係（T & Dホールディングス連結）

- 経常収益は、2兆1,041億円、前年から5.6%の増加、  
うち保険料等収入は、1兆6,912億円、前年から14.7%の増加となりました。
- 経常利益は、1,208億円、前年から27.3%の増加となりました。
- 当期純利益は、267億円、前年から12.1%の増加となりました。

#### 株主配当

- 1株当たり年間配当金は、22.5円を予定しています。

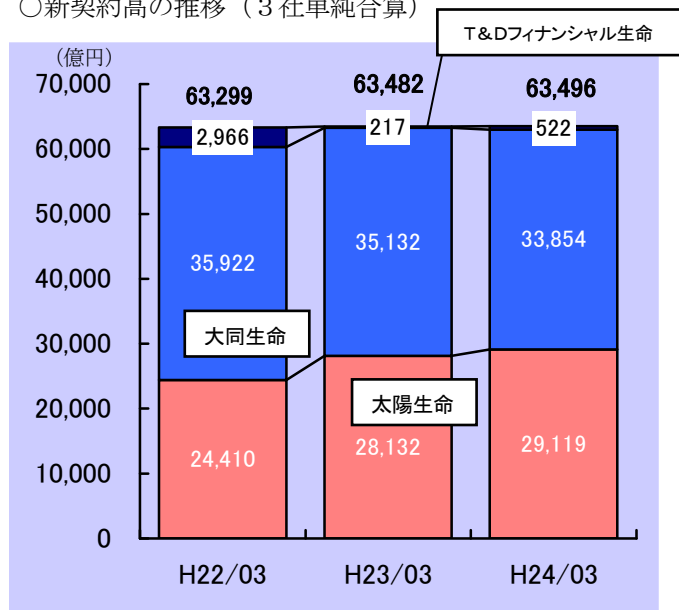
以上

#### 【お問合せ先】

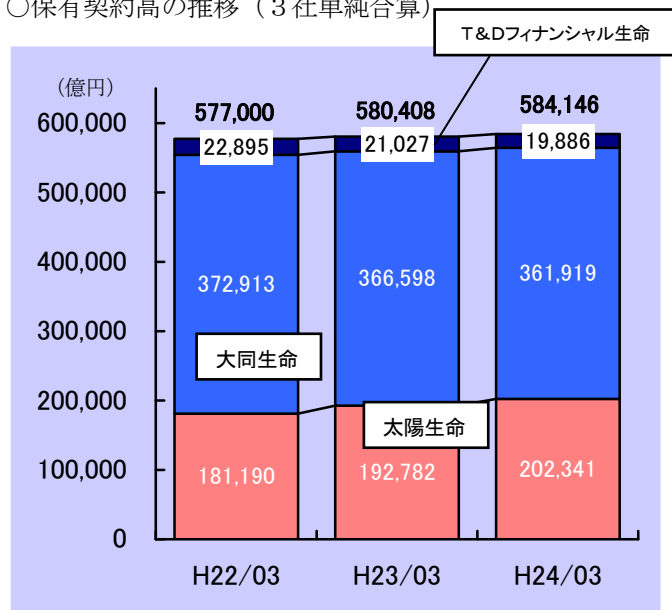
株式会社T & Dホールディングス	広報部	今井・松尾	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	家徳	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	西岡	TEL 03-3434-9190
T & Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	進藤	TEL 03-3434-8840

[契約業績（個人保険・個人年金保険）]

○新契約高の推移（3社単純合算）



○保有契約高の推移（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
新契約高	63,496	13増 (0.0%増)	29,119	987増 (3.5%増)	33,854	1,278減 (3.6%減)	522	304増 (140.4%増)
解約失効高 (解約失効率)	42,616	2,352減 (5.2%減)	12,221	893増 (7.9%増) (6.34%)	29,470	3,168減 (9.7%減) (8.04%)	923	78減 (7.8%減) (4.39%)
新契約年換算保険料	1,306	274増 (26.5%増)	636	238増 (60.0%増)	633	11増 (1.9%増)	37	23増 (170.8%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	133	25増 (23.0%増)	64	5減 (8.0%減)	68	30増 (80.7%増)	0	0増 (-)

(注) 新契約高には転換による純増加高を含んでおります。

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
保有契約高	584,146	3,738増 (0.6%増)	202,341	9,559増 (5.0%増)	361,919	4,679減 (1.3%減)	19,886	1,141減 (5.4%減)
保有契約年換算保険料	14,020	47増 (0.3%増)	6,069	115増 (1.9%増)	6,235	20減 (0.3%減)	1,715	47減 (2.7%減)
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,605	20減 (1.3%減)	1,044	38減 (3.5%減)	519	21増 (4.3%増)	41	4減 (8.9%減)

■ 3社単純合算

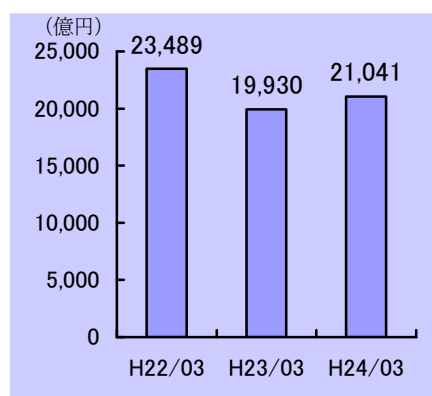
- ・新契約高は、6兆3,496億円、前年から微増。
- ・解約失効高は、4兆2,616億円、前年から5.2%の減少。  
これは主に、大同生命の解約が減少したため。
- ・保有契約高は、5兆8千4百14.6億円、前年度末から0.6%の増加。  
これは、太陽生命の保有契約高が増加したため。

■ 各社の状況

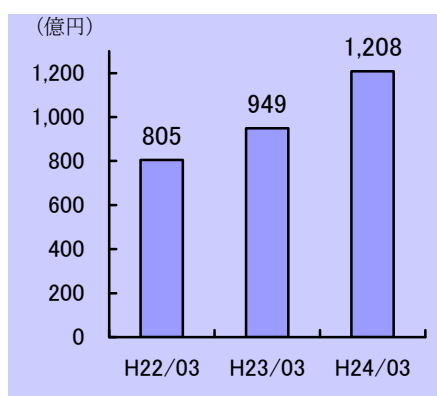
- ・太陽生命の新契約高は、2兆9,119億円、前年から3.5%の増加。  
また、保有契約高は、20兆2,341億円、前年度末から5.0%の増加。
- ・大同生命の新契約高は、3兆3,854億円、前年から3.6%の減少。  
なお、主力商品の一つである「Jタイプ（無配当重大疾病保障保険）」の重大疾病保険金額2,813億円を加算した金額でみた場合、3兆6,667億円、前年から1.7%の増加。また、保有契約高は、3兆6千5百57.3億円、前年度末から0.5%の減少。  
※「Jタイプ」には普通死亡の保障がないため、新契約高・保有契約高には計上していません。
- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は、522億円、前年から140.4%の増加。  
これは主に、昨年8月発売の「生涯プレミアム・ジャパン（定額終身保険）」の販売による。

## [損益関係]

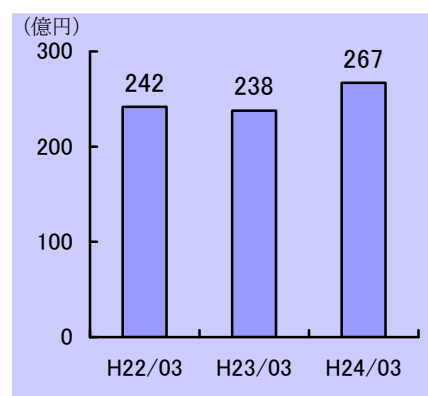
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○当期純利益（連結）



(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当連結会計年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
経常収益	21,041	1,110 増 (5.6%増)	11,217	2,019 増 (22.0%増)	9,345	280 減 (2.9%減)	1,196	132 増 (12.5%増)
うち保険料等収入	16,912	2,169 増 (14.7%増)	9,034	1,854 増 (25.8%増)	7,202	30 増 (0.4%増)	666	280 増 (72.7%増)
うち資産運用収益	3,250	209 増 (6.9%増)	1,931	146 増 (8.2%増)	1,178	110 減 (8.6%減)	201	105 増 (110.7%増)
うちその他経常収益	878	1,268 減 (59.1%減)	251	18 増 (8.0%増)	965	200 減 (17.2%減)	328	253 減 (43.6%減)
経常費用	19,832	851 増 (4.5%増)	10,610	1,911 増 (22.0%増)	8,737	401 減 (4.4%減)	1,220	86 増 (7.6%増)
うち保険金等支払金	15,248	125 増 (0.8%増)	7,144	292 増 (4.3%増)	7,034	357 減 (4.8%減)	1,065	189 増 (21.6%増)
うち資産運用費用	1,105	37 増 (3.5%増)	601	117 増 (24.3%増)	498	39 減 (7.3%減)	51	104 減 (66.9%減)
経常利益（△損失）	1,208	259 増 (27.3%増)	606	108 増 (21.8%増)	608	120 増 (24.7%増)	△23	46 増 (66.2%増)
特別損益	△184	44 増 (19.3%減)	△148	6 減 (4.4%増)	△24	40 増 (61.7%減)	△7	11 増 (60.6%減)
契約者配当準備金繰入額（△戻入）	304	7 増 (2.4%増)	162	7 増 (5.0%増)	141	0 減 (0.5%減)	△0	0 増 (54.0%減)
税引前当期純利益（△損失）	720	296 増 (69.9%増)	296	94 増 (47.1%増)	441	161 増 (57.5%増)	△31	57 増 (65.0%減)
法人税等合計	450	266 増 (145.4%増)	184	109 増 (145.2%増)	252	132 増 (110.1%増)	5	31 増 (一)
当期純利益（△損失）	267	28 増 (12.1%増)	111	14 減 (11.7%減)	189	29 増 (18.1%増)	△36	26 増 (42.1%減)

(参考)

資産運用関係収支（一般勘定）	2,020	120 減 (5.6%減)	1,330	28 増 (2.2%増)	676	88 減 (11.6%減)	28	63 減 (69.1%減)
法人税率引き下げに伴う当期純利益への影響額	△236	—	△101	—	△115	—	△18	—

(注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。

2. 保険料等収入の3社単純合算は1兆6,903億円（前年比14.7%増）です。

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **経常収益**は、2兆1,041億円、前年から1,110億円の増加。  
これは主に、太陽生命の保険料等収入の増加による。
- ・ **経常利益**は、1,208億円、前年から259億円の増加。  
これは主に、3社の基礎利益が増加したことによる。(基礎利益は次ページ参照)
- ・ **当期純利益**は、267億円、前年から28億円の増加。  
なお、法人税率引下げに伴う当期純利益への影響は△236億円。

■ 太陽生命の状況

- ・ **経常収益**は、1兆1,217億円、前年から22.0%の増加。
- ・ **保険料等収入**は、9,034億円、前年から25.8%の増加。
- ・ **経常利益**は、606億円、前年から21.8%の増加。  
これは主に、基礎利益の増加による。
- ・ **当期純利益**は、111億円、前年から11.7%の減少。  
なお、法人税率引下げに伴う影響は△101億円。

■ 大同生命の状況

- ・ **経常収益**は、9,345億円、前年から2.9%の減少。
- ・ **保険料等収入**は、7,202億円、前年から0.4%の増加。
- ・ **経常利益**は、608億円、前年から24.7%の増加。  
これは主に、基礎利益の増加による。
- ・ **当期純利益**は、189億円、前年から18.1%の増加。  
なお、法人税率引下げに伴う影響は△115億円。

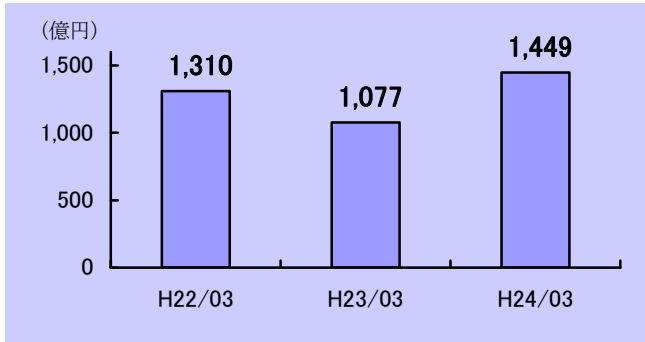
■ T&Dフィナンシャル生命の状況

- ・ **経常収益**は、1,196億円、前年から12.5%の増加。
- ・ **保険料等収入**は、666億円、前年から72.7%の増加。  
これは主に、定額終身保険の新契約高の増加による。
- ・ **経常利益**は、△23億円、前年から46億円の改善。  
これは主に、基礎利益の改善による。
- ・ **当期純利益**は、△36億円、前年から26億円の改善。  
なお、法人税率引下げに伴う影響は△18億円。

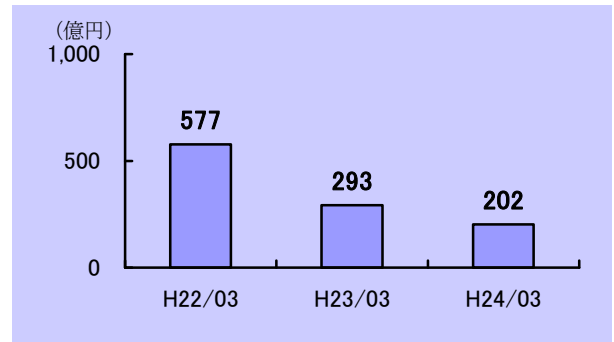
[その他の指標等]

<基礎利益と逆ざや>

○基礎利益（3社単純合算）



○逆ざや額（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
基礎利益	1,449	371 増 (34.5%増)	575	71 増 (14.2%増)	824	202 増 (32.6%増)	48	96 増 (-)
逆ざや額	202	90 減	65	4 減	110	81 減	27	4 減

■ 3社単純合算

- ・ **基礎利益**は、1,449億円、前年から371億円の増加。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の基礎利益**は、575億円、前年から71億円の増加。

これは主に、東日本大震災に係る影響（前年度の支払備金繰入費用の計上および当年度の支払備金戻入に伴う見積差益の発生）および逆ざや額の改善による。

**逆ざや額**は、65億円、前年から4億円の改善。

これは主に、予定利息が前年より減少したことによる。

- ・ **大同生命の基礎利益**は、824億円、前年から202億円の増加。

これは主に、東日本大震災に係る影響（前年度の支払備金繰入費用の計上および当年度の支払備金戻入に伴う見積差益の発生）および逆ざや額の改善による。

**逆ざや額**は、110億円、前年から81億円の改善。

これは主に、基礎利益中の運用収支の増加および予定利息が減少したことによる。

- ・ **T&Dフィナンシャル生命の基礎利益**は、48億円、前年から96億円の改善。

これは主に、相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金が前年の繰入から戻入に転じたことによる。

**逆ざや額**は、27億円、前年から4億円の改善。

<ソルベンシー・マージン比率>

(単位：%、ポイント)

	T&Dホールディングス		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	—	—	747.3	(76.5 上昇)	851.9	(131.3 上昇)	553.7	(17.4 低下)
連結ソルベンシー・マージン比率	810.6	—	759.0	—	858.3	—	—	—

(注) 1. 2012年3月期から適用となった新基準に基づく。

2. 前年度末比は、同基準に基づく増減ポイント(参考値)

3. T&Dフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示していません。

## ■ T & Dホールディングス連結

- ・連結ソルベンシー・マージン比率は、810.6%。

## ■ 各社の状況

- ・**太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、747.3%、前年度末から76.5ポイント上昇。  
これは主に、価格変動準備金の積み増しとその他の有価証券の評価差額の増加等ソルベンシー・マージン総額の増加による。
- ・**大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、851.9%、前年度末から131.3ポイント上昇。  
これは主に、株式等の売却に伴う資産運用リスクの減少に加え、その他の有価証券の評価差額の増加等ソルベンシー・マージン総額の増加による。
- ・**T & Dフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、553.7%、前年度末から17.4ポイント低下。  
これは主に、相場変動に伴うソルベンシー・マージン総額の減少による。

## <実質純資産>

(単位：億円)

	T & Dホールディングス (連結)		太陽生命 (単体)		大同生命 (単体)		T & Dフィナンシャル生命 (単体)	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
実質純資産	13,777	—	5,776	1,240 増	6,697	662 増	960	54 増

## ■ T & Dホールディングス連結

**連結実質純資産**は1兆3,777億円。

## ■ 各社の状況

- ・**太陽生命の実質純資産**は、5,776億円、前年度末から1,240億円の増加。  
これは主に、価格変動準備金の積み増しと有価証券の差損益の増加による。
- ・**大同生命の実質純資産**は、6,697億円、前年度末から662億円の増加。  
これは主に、有価証券の差損益の増加による。
- ・**T & Dフィナンシャル生命の実質純資産**は、960億円、前年度末から54億円の増加。  
これは主に、有価証券の差損益の増加による。

## <有価証券の差損益 (一般勘定) >

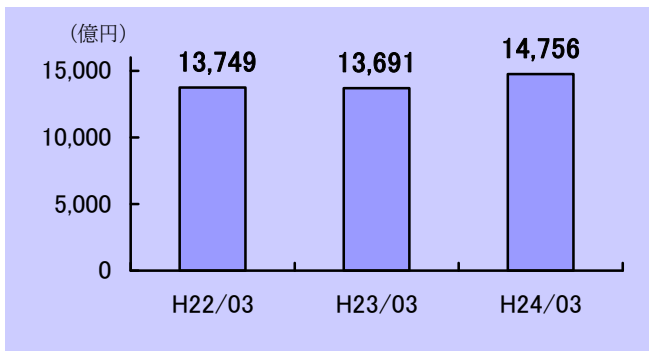
(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T & Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
有価証券の差損益 (一般勘定)	3,864	1,716 増	2,496	1,138 増	1,256	517 増	111	60 増
うち公社債	2,305	1,202 増	1,363	754 増	830	387 増	111	61 増
うち株式	981	238 減	649	228 減	331	9 減	—	—
うち外国証券	458	643 増	412	589 増	45	53 増	—	—
うちその他の証券	△13	60 増	5	2 増	△19	60 増	—	1 減
うち金銭の信託	△2	0 減	—	—	△2	0 減	—	—
うち買入金銭債権	136	49 増	64	21 増	71	27 増	—	—
土地等の差損益	163	29 減	△7	23 減	171	5 減	—	—

(注) 1. 有価証券の差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。

2. 土地等の差損益については、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。

<ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー (EEV)>



(単位：億円)

	T&D保険グループ		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
EEV	14,756	1,065 増	5,500	594 増	8,569	518 増	686	47 減
修正純資産	10,366	1,751 増	4,801	1,058 増	4,904	629 増	661	63 増
既契約の将来価値	4,389	686 減	699	463 減	3,664	111 減	25	111 減

	T&D保険グループ		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
新契約価値	623	76 増	220	28 減	407	96 増	△4	9 増

■ T & D 保険グループ

- ・ EEV は、1 兆 4, 7 5 6 億円と、前年度末から 1, 0 6 5 億円の増加。

■ 各社の状況

- ・ 太陽生命の EEV は、5, 5 0 0 億円、前年度末から 5 9 4 億円の増加。
- ・ 大同生命の EEV は、8, 5 6 9 億円、前年度末から 5 1 8 億円の増加。
- ・ T & D フィナンシャル生命の EEV は、6 8 6 億円、前年度末から 4 7 億円の減少。

[平成25年3月期通期業績予想]

○T&Dホールディングス連結

平成25年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位：億円)

	平成24年3月期実績	平成25年3月期予想	増減
経常収益	21,041	21,100	58 増 (0.3%増)
経常利益	1,208	1,140	68 減 (5.7%減)
当期純利益	267	360	92 増 (34.5%増)

1株当たり年間配当金予想は22.5円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成25年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	11,000 (217 減) (1.9%減)	8,400 (945 減) (10.1%減)	1,900 (703 増) (58.8%増)
経常利益(△損失)	600 (6 減) (1.2%減)	530 (78 減) (12.9%減)	0 (23 増) (-)
当期純利益(△損失)	180 (68 増) (62.1%増)	190 (0 増) (0.2%増)	△10 (26 増) (72.7%減)

(注) 括弧内は平成24年3月期からの増減額・率です。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以 上



(参考) 生命保険会社3社の平成25年3月期通期見通し

(単位：億円)

	3社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,280 (169 減) (11.7%減)	550 (25 減) (4.5%減)	650 (174 減) (21.2%減)	80 (31 増) (64.4%増)
保険料等収入	17,800 (896 増) (5.3%増)	9,000 (34 減) (0.4%減)	7,200 (2 減) (0.0%減)	1,600 (933 増) (139.9%増)
逆ざや額	130 (72 減) (35.9%減)	60 (5 減) (8.1%減)	50 (60 減) (54.6%減)	20 (7 減) (26.7%減)
新契約高	66,800 (3,303 増) (5.2%増)	31,300 (2,180 増) (7.5%増)	34,000 (145 増) (0.4%増)	1,500 (977 増) (187.3%増)
保有契約高	588,600 (4,453 増) (0.8%増)	212,000 (9,658 増) (4.8%増)	357,600 (4,319 減) (1.2%減)	19,000 (886 減) (4.5%減)
解約失効率 (%)		6.3 (-)	8.1 (0.1ポイント上昇)	3.8 (0.6ポイント低下)

(注) 1. 括弧内は平成24年3月期からの増減額・率です。

2. 新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。

また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

3. 大同生命に関して、「無配当重大疾病保障保険（Jタイプ）」の重大疾病保険金額を加算した契約高の金額は、次の見通しです。（「Jタイプ」には普通死亡の保障がないため、上記の契約高には計上していません。）

新契約高 : 3兆7,400億円

保有契約高 : 36兆4,500億円

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

(参考) 契約者配当

○太陽生命

①個人保険・個人年金保険

・毎年お支払いする通常の配当金 ……前年度配当率を据え置きます。

・消滅時などにお支払いする特別配当金

消滅時配当（責任準備金比例） ……前年度配当率を据え置きます。

消滅時配当（保険料比例） ……前年度配当率を据え置きます。

疾病健康配当 ……前年度より引き上げます。

10年以上経過して消滅かつ給付金支払のない疾病保障特約等について入院給付金日額1,000円につき2,200円

(前年度：入院給付金日額1,000円につき2,000円)

②団体保険 前年度配当率を据え置きます。

③団体年金保険 前年度配当率を据え置きます。

○大同生命

①個人保険・個人年金保険 前年度配当率を据え置きます。

②団体保険 前年度配当率を据え置きます。

③団体年金保険 利差配当を0とします。

○T&Dフィナンシャル生命

・前年度に引き続き割り当てはありません。

以上